

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30 年 11 月 13 日
第 15 号

三重県いじめ防止フォーラムに参加して

11月1日、三重県教育員会が主催する三重県いじめ防止フォーラムに参加しました。三重県では今年4月、「いじめ防止条例」を施行しました。また、11月を「いじめ防止強化月間」とし、それに合わせる形でこのフォーラムが開催されました。

ところで、みなさんは「ピンクシャツ運動」をご存じでしょうか。

ピンクシャツデーとは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。この運動は、「いじめ反対」のメッセージとともに、いじめの問題を個人や当事者間だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者になることなどを含め、いろいろないじめの問題について考える機会となっています。

<ピンクシャツデーのはじまり>

舞台はカナダのハイスクールです。ある登校日に9年生の男子生徒（日本では中学3年生）が、ピンク色のシャツを着て登校したことをからかわれ、さらに暴行を受け、耐えきれずに帰宅してしまいました。それを聞いた12年生（日本では高校3年生）の男子生徒2人が、いじめの問題について反対するために何か行動しようと考えました。そして、その日の放課後、2人はディスカウントショップへ行き、ピンクのシャツやタンクトップを大量に買い込み、その夜、クラスメートたちにメール等で、明日、一緒に学校でピンクシャツを着ようと呼びかけました。

翌朝、2人が校門でピンクシャツを配り始めると、思いもよらない光景が目に見えてきました。それは、すでにピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツを用意できなかった生徒は、リボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。

2人の気持ちは一夜のうちに広まり、2人が呼びかけた人数よりはるかに多くの生徒たちが、ピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校したことで、その日、学校はピンク色に染まったそうです。

そして後日、いじめられた生徒はピンク色のポロシャツを再び着て登校してきました。

この行動がきっかけとなり、現在カナダでは毎年2月最終水曜日をピンクシャツデーとし、賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っています。

当日は、参加者がピンクシャツを着たり色の小物を身につけたりすることで、「いじめ反対」の意思を会場一体となって示していきたいと考えています。

※主催者のパンフレットより引用

この日私はピンクのシャツを着てフォーラムに出席しました。会場内にはピンクのシャツを着た人や小物をもった人もいました。普段よりは割合が多いかなという感じでしたが、まだまだ少ないのがちょっと残念でした。もっとも恰好よりも気持ちが一番大事ですけどね。

また、これに先立ち8月21日には、いじめ防止に係る中学生・高校生意見交換会が行われました。この会は中学生・高校生がいじめの防止に向けた具体的な方策について、自ら考え話し合う機会として、県内の中・高校生を対象に、いじめの防止についての意見をグループに分かれて交流するために開催されたものです。フォーラムにはこの中の1つのグループが参加していたのですが、彼らが言っていたことがとても素敵だったので紹介します。自分たちのグループ討議のまとめとして次のようなしりとり言葉を考えました。

「あいさつ つながり りかい いい社会」

あいさつを交わすことで人とのつながりができる。つながりができるとお互いを理解しあえる。理解しあえるといい社会を築ける。というものでした。こんな社会を大人の手で作り上げていきたいですね。

もう一人、高校生の素敵な発言がありました。彼はパネルディスカッションのパネラーとして参加していました。色々な立場の方からいじめ問題を討論した後、司会者（鈴木知事でした）から「高校生から大人に向けてのメッセージはありますか」と問われると、「子どもは大人の姿を見て育っています。大人は子どもの見本です。だから、悪い見本を見せないようにしてほしい。」とっていました。まったくその通りですね。

なお、入鹿小学校のホームページの「お知らせ」のページに本校のいじめ防止基本方針が載せてありますので、ご一読いただければ幸いです。

やっぱりダメージが大きかった サツマイモ

前回の学校だよりで、サツマイモの葉が虫に食われて大ピンチ、とお伝えしましたが、結果が判明しました。先日、イモを掘ったところ、ほとんどが育っておらず、小さくわずかに根が膨らんだ程度のイモがほとんどという悲しい結果に終わりました。去年は収穫コンテナに1つ半くらい収穫できたのが、今年は半分以下でしかも小さいものがほとんど。重さで見れば収穫量は去年の10分の1程度といったところでしょうか。ただ、まったくダメというわけではなかったなので、焼イモは無理だとしても、他の何かに調理して、みんなでおいしくいただこうと思っています。

